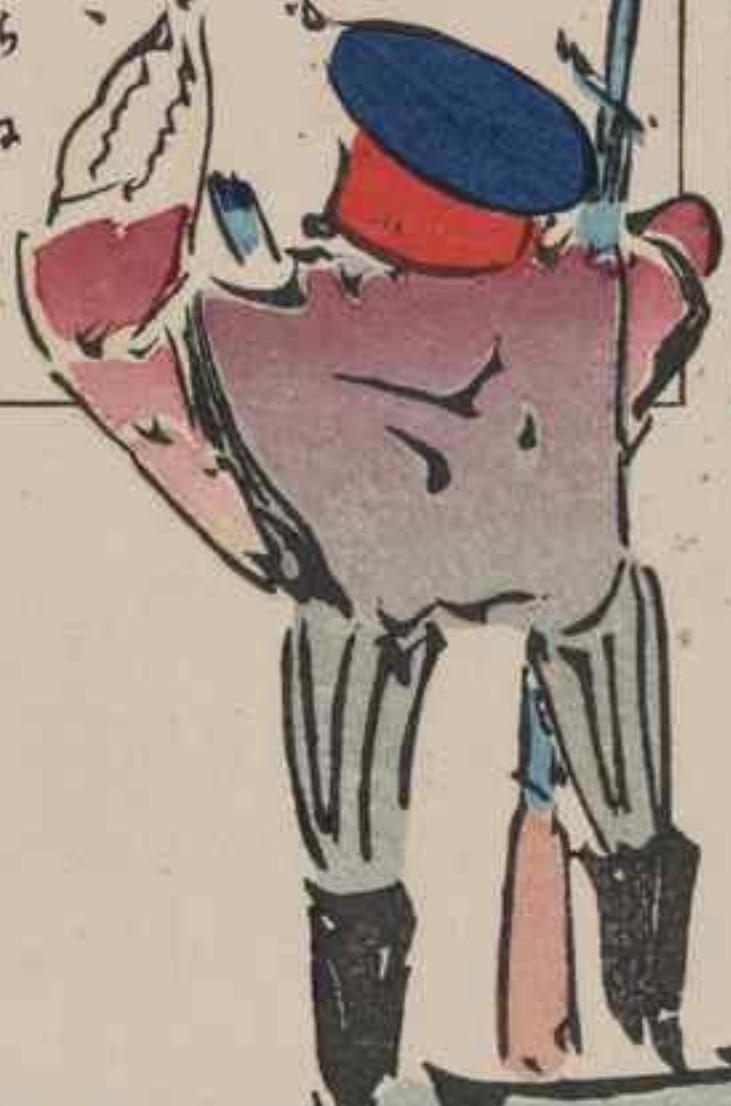


日本
萬歲
百擗
百笑

○苦ん時の蟹頼み

骨皮道人

露軍が例の滅茶負を何うも
斯うも逃む場所があつた
さういふ苦ん時の蟹頼みと
ふ酒落下もあるまの蟹は甲殻も似せ
穴を掘ると一寸一件々鬼の附く降兵
が蟹より一寸一寸穴を掘り始め甲「蟹とい
言ひ掛り」即ち足が沢山あつて何所どう
でも這らぬが出来りやアイクラ日本兵が
来たも大丈夫前々来た後之逃ぶ
後ろろも来たやア一証出す右々来たが
丸たたり来たが右をあくモウ何のあつて
られたも安堵おのど一係イクラ殺手も良
たがとて人百が蟹もあつて情けなげにや
あなや四イヤ日本どうして平家の後武者の
みんな蟹も化けとてさ例もあつて
我が蟹にあつてかゝる何処なるも
せんも無くらう甲「平家あつて何
をさよア蟹心」



明治三十八年四月一日印刷全年全月五日發行印刷兼發行所日本橋區吉川町一番地松本平吉電話浪花三三二八十六番